

農業高校の魅力と可能性について

松井 馨

農業後継者を育成するため、戦前に農村指導者を育成するために生まれた「農業高校」の現在の魅力と可能性について記載する。本論文の「農業高校」とは、農業科単独校のみを指しているわけではなく、専門的に農業を学ぶことができる専門高校を指す。そのため、総合選択制の高校であり、農業系の学科で学ぶことができる高校も「農業高校」と書いていることがある。①農業高校は現在、農業後継者を育成の場ではないが今後も「農業高校」は必要なのか。②農業高校に通っている高校生はなぜ「農」に魅力を感じるのか、③彼らの進路はどのようなになっているのか。以上3つの柱を設けて本論文を執筆した。

序章で筆者の立場・本論文の立場を明らかにし、1章では全国の農業高校についての概要について、2章では日本学校農業クラブ連盟について執筆した。3章と4章ではこの度調査に協力していただいた栃木県立宇都宮白楊高等学校の学科や取り組みそのものを軸に農業高校の魅力と可能性について考えた。終章では上記の①②③をまとめた。「農業を学び農業で学ぶ」この「農業で」学ぶことが重要であり、それこそが農業高校の魅力であり、可能性であるとして本論文の結論とする。